

ハイライト:

- 「神の手」を持つ福島孝徳先生と対談
- 平成20年9月議会報告

後期高齢者医療制度廃止に向けた意見書提出

一般質問報告『税金が市民の幸せにつながっていない??』

決算特別委員会市長質疑報告『紫川ダム計画って??』



北九州リハビリ報告

「神の手を持つ男」福島孝徳先生と対談



<福島孝徳先生プロフィール>

脳外科医として、30数年間にわたり毎年600人以上もの手術を行い、患者の命を救っている。2007年現在、20,000例を超える手術を行い、今なお手術中心の生活を続けている。神の手と称される手術手技として知られている「鍵穴手術(キーホールオペレーション)」は、福島先生が開発した代表的な手術手技。頭部に500円硬貨ほどの小さな穴をあけ、顕微鏡を使って患部を切除・縫合する。患者の予後が一番に考案した。また、世界一の医療水準を誇るアメリカの医療関係者からも福島先生は「神の手を持つ男」と賞賛されている。



福島孝徳先生からこれからの医療のあり方について、ご指導いただきました。「日本の医療費は先進国の中で決して高くない、年金問題や医療費問題を含め歳をとっても安心して暮らしていける社会保障を担保することが大切である。また、医療の質のレベルに合わせて診療報酬を変えていくことも重要である」等のアドバイスをいただきました。

福島孝徳先生より応援のメッセージ

「医療界出身の議員として現場の声、患者様の声をこれからも代弁してください。全国唯一、作業療法士の政令指定都市議員として中村義雄君の活躍を期待します」

後期高齢者医療制度の廃止にむけた意見書を提出(中村よしおが素案を作り可決しました)

年齢で差別する「後期高齢者医療制度」については、今年3月議会で「後期高齢者医療制度の見直しを求める意見書」を全会派一致で可決、今回の9月議会では「後期高齢者医療制度の廃止を含めたより抜本的な見直しを求める意見書」を可決させました。いずれの意見書も中村よしおが素案を作り、所属会派から提出したものです。「歳をとっても安心して暮らせるまちづくり」のために後期高齢者医療制度の廃止に向けて活動していきます。

ノー原稿にチャレンジ！！（自分の言葉で！！）

今回の議会では会派を代表して本会議で一般質問を行いました。通常の一般質問では事前に発表原稿を作成し、読み上げますが、今回はできるだけ市民の皆さんにわかりやすくするために、原稿を作らず自分の言葉で質問を行いました

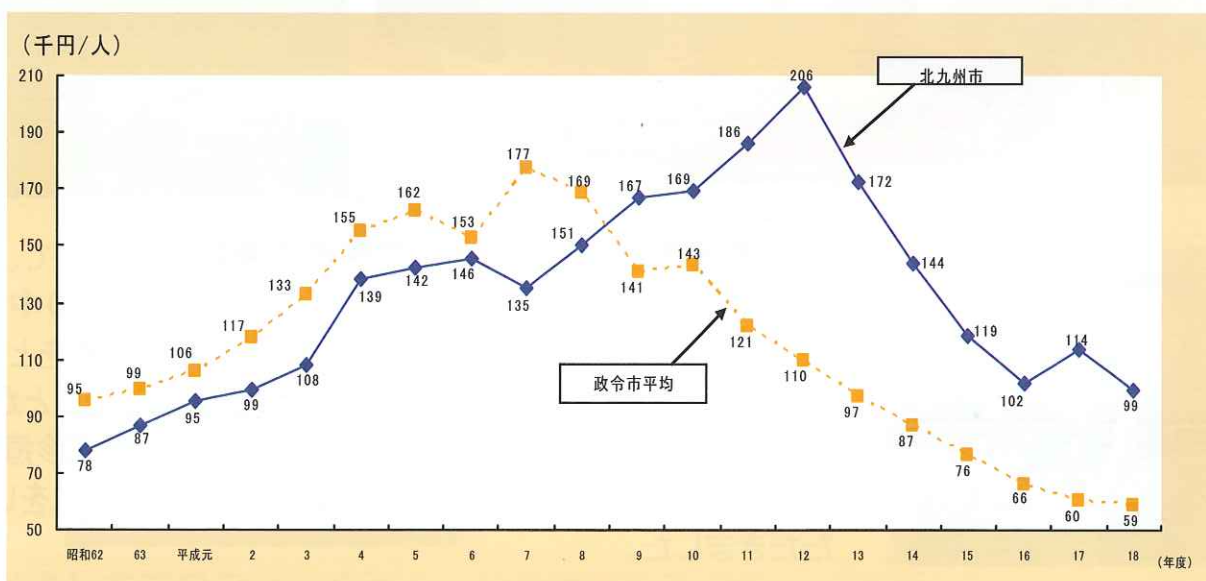
（ノー原稿質問）。

傍聴に来ていただいた皆様から「今までよりわかりやすかった」との声を頂き、これからもできるだけ「ノー原稿質問」に取り組んでいきたいと思います。



ダントツ、政令市一の公共事業、投資の割には市民の幸せにつながっていない税金の使い方？

市民一人あたり投資的経費の政令市比較(普通会計決算)



今回のメイン質問は財政問題です。私の専門分野である福祉・医療や子育てはお金がかかります。財政状況を踏まえず語ることはできません。そこで北九州市の**今までのお金の使い方とそれが市民の幸せにつながっているか**という視点で質問しました。

上記のグラフは投資的経費(公共事業)の政令市比較です。平成12年では政令市平均の

約2倍、平成18年でも政令市トップであることから、**本市は政令市の中で最も公共事業に力を入れてきた**ことがわかります。

「公共事業」＝「仕事が増える」＝「市民生活が豊かになる」という考えがあると思いますが、本市の場合はどうでしょうか？
(次ページに続く)

平成20年9月議会報告（一般質問）

第9号

政令市で数少ない人口が減る市、政令市一 市民所得が少ない市

政令都市の人口（平成19年4月1日現在）

区 分			単位	△：人口減					
人口			人						
前年度伸び率			%						
札幌市	仙台市	さいたま市	千葉市	川崎市	横浜市	新潟市	静岡市	浜松市	
1,887,819	1,022,712	1,185,457	931,943	1,354,913	3,609,078	809,803	710,449	807,710	
0.3	0.3	0.5	0.6	1.7	0.6	△ 0.1	△ 0.2	0.3	

名古屋市	京都市	大阪市	堺市	神戸市	広島市	北九州市	福岡市		
2,223,787	1,467,285	2,637,115	832,959	1,526,816	1,155,934	985,855	1,414,747		
0.5	△ 0.2	0.3	0.3	0.1	0.4	△ 0.3	0.9		

17政令市中人口が減っている市は4市のみであり、減少率は本市が最大です。全国的には人口は減っていますが、政令市などの大都市は人口が増えているのが現状です。特にいわゆる100万以上の都市で減っているのは、本市と京都市のみであり、公共事業が人口に結びついていないことがわかります。

政令都市の市民所得（平成19年4月1日現在）

区 分			単位						
市民所得(1人当たり)			千円						
(前年度伸び率)			(%)						
札幌市	仙台市	さいたま市	千葉市	川崎市	横浜市	新潟市	静岡市	浜松市	
2,700	2,935	3,888	3,348	3,281	3,110	2,872	3,268	3,283	
(△0.9)	(△3.0)	(1.7)	(2.6)	(2.7)	(△0.8)	(△1.0)	(0.2)	(△0.3)	

名古屋市	京都市	大阪市	堺市	神戸市	広島市	北九州市	福岡市		
3,241	2,911	3,311	...	2,773	3,019	2,518	3,109		
(2.2)	(0.1)	(4.1)	(...)	(0.8)	(1.2)	(△1.8)	(△1.2)		

市民所得は上記の表の通り一人あたり約252万円と政令市最低です。お隣の福岡市とは60万円近い差があります。公共事業が市民所得にも結びついていないことがわかります。

税金が市民のためになっているのかを決算で示すべき！

「公共事業」＝「仕事が増える」＝「市民生活が豊かになる」という図式は北九州市において成り立っていないことが上記からもわかります。

今回の一般質問ではただ緊縮財政をしるのではなく、税金をいかに市民のために使うかを決算においてチェックしていくことを提案しました。

それには「人口」「市民所得」「企業数」「企業の設備投資」などの増減をみていくことが大切だと思います。

＜その他の一般質問＞

- * 中央卸売場の今後のあり方について
 - * 障害がある人のスポーツや芸術活動について
 - * 障害者施設及び保育施設の指定管理者制度のあり方について
 - * 公立幼稚園及び学童保育クラブの障害児の受け入れ態勢について
- 等の質問を行いました。

紫川ダム計画って？



紫川ダム計画をご存じですか？100年に一度の大雨のために毎年約600万円、今まで2億7,000万円の調査費を使って県に計画の実施を訴えています。

決算特別委員会市長質疑ではほとんどの市民が知らない「紫川ダム計画」について市民に周知し、作るべきかどうかの議論をするべきと質問しました。



北九州市議会議員 中村よしお事務所

〒 802-0043

北九州市小倉北区足原1丁目1-39

電話 093(932)8533

FAX 093(922)8277

Email: nakamura-y3226@nifty.com

<中村よしおプロフィール>

政党は無所属です

- 昭和39年5月12日生まれ（44歳） 作業療法士（リハビリの専門職 23年目）
- 徳香幼稚園、横代小学校、横代中学校、小倉南高校を経て国立療養所福岡東病院附属リハビリテーション学院 作業療学科を卒業（作業療法士免許取得）
- 民間医療機関で作業療法士として7年間勤務
- 北九州市を現場の声が伝わるまちにしたいと思い、北九州市役所に入職（10年間勤務）
- 歳をとっても、障害があっても安心して住めるまちにするために市役所を退職し、
2005年1月の北九州市議会議員選挙に挑戦、初当選
- 現在の役職・・・保健病院委員長（保健福祉局・病院局・こども家庭局所管）、小倉北区中学校PTA連合会会長、北九州市立霧丘中学校PTA会長、（社）北九州市社会福祉協議会評議員、小倉南北ソフトボール連盟会長、小倉南北バレーボール連盟会長、小倉区剣道連盟顧問、小倉リトルシニア父母会副会長、勝山足立ライオンズクラブ会員、（社）福岡県作業療法協会顧問、NPO法人足立山麓文化村福祉大臣、小倉北消防団第3分団顧問